

公益社団法人インテリア産業協会
令和5年度事業計画
(2023年4月1日～2024年3月31日)

I 基本方針

世界はワクチン接種の進捗とともに経済再生というポストコロナへの移行期に向かっていると同時に、エネルギー価格の上昇や、サプライチェーンの混乱、世界的なインフレ、ウクライナ侵攻等、いくつもの脅威や環境の変化を迎えています。ここにAIの発達、カーボンニュートラルへの対応等も重なり、インテリア業界の経済活動や協会の事業活動も今後大きく変化していくことが予想されます。

このような環境の中、令和5年度に協会は40周年を迎えますが、以下の重点方針のもと変化する環境やマーケットに対応した安定的な事業活動を目指し、IC（インテリアコーディネーター）・KS（キッチンスペシャリスト）資格者を始めとする一般生活者の育成を通じ、国民の住生活の向上に貢献します。

1. 協会活動全般

自然災害や感染症等の事業リスクの対応並びにガバナンス強化による事業の透明性向上を図るため、引き続きICTを活用した協会活動を推進します。また、7つの公益目的事業の有機的展開により、効果的な事業運営を図ります。

2. 資格認定試験・資格登録

今年度からインテリアコーディネーター資格認定試験の一次試験をCBT（Computer Based Testing）方式とし、翌年度のキッチンスペシャリスト資格認定試験への採用に向けて準備を開始します。また、IC・KS読本記載内容が資格者にとってより有効なコンテンツとなるように注力します。

3. 能力向上・育成関連

環境や市場の変化に対応すべく、ICハンドブックとKSハンドブックの改訂に向けて会員や資格者の意見を広く聴取します。また、インターネットを活用した一般生活者向けの動画やリモートシステムによるセミナーの配信回数を拡大します。

4. 情報・広報活動関連

一般生活者や会員に発信する情報の内容や方法を見直し、より有益な情報提供に努めます。

5. その他

令和4年度に導入した会計システム等の定着を図り、タイムリーかつ正確な事業進捗管理を推進します。また、支部事業活動を積極的に推進します。

II 個別事業（内閣府に認定を受けている事業ア～キ）

ア. IC等を目指す者への教育、情報提供

1. IC・KSハンドブック等の書籍頒布

ICまたはKS資格認定試験を受けようとする者、インテリアについて学ぼうとする者などに対して、ICハンドブック、KSハンドブックを頒布して、その学習を支援します。また、ICハンドブック統合版（上巻・下巻）、改訂二版KSハンドブックは、内容の見直しを検討する時期にきていると考えられるため、改訂に関する議論を推進します。

2. 資格取得の学習等を支援する通信教育事業

ICまたはKS資格認定試験を受けようとする者、インテリアについて学ぼうとする者を対象として、引き続き通信教育による講座を開講します。

イ. IC等の認定試験

1. IC資格認定試験

(1)第41回IC資格認定試験の一次試験（学科）は、CBT方式による試験を全国47都道府県の試験会場（テストセンター）において、次の日程での実施を予定しています。

2023年9月15日（金）～10月15日（日）

(2)二次試験（プレゼンテーション・論文）は、これまでと同様に全国12地域において、次の日程での実施を予定しています。

2023年12月3日（日）

2. KS資格認定試験

第36回KS資格認定試験（学科、実技）は、全国12地域において次の日程での実施を予定しています。

2023年12月3日（日）（IC二次試験と同日、同地域）

なお、全ての試験実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の流行動向に留意しつつ、必要な感染予防対策を行います。

ウ. IC等の登録

1. 資格登録

IC・KS資格認定試験の合格者に対して、資格登録の案内通知を行い、登録申請者に対して資格証を発行します。

2. 登録更新

IC・KS有資格者の定期的な登録更新については、統合システムを活用して、更新案内、登録情報の更新、資格証の交付を確実にを行います。

メールアドレス未登録者に対しては、メールアドレスの登録を引き続き促し、住所不明者に対しては、登録メールアドレス等を活用した現住所確認を継続し、適切に更新資料を発送します。

3. IC・KS読本

資格者の学習に有益となる知識・情報を精査し、その内容を盛り込んだ「IC・KS読本」の制作を継続します。更新案内時に資格更新対象者全員に配布するとともに、新規登録者にも配布します。

エ. IC等の能力向上のための講座等の開催

- (1) IC・KS有資格者や一般生活者へのインテリアの基礎知識の習得や能力向上のために、全国各地で講座等を積極的に開催します。開催については、ウェブサイトを利用して広く参加の機会を拡げます。
- (2) 高等学校の生徒を対象に、インテリア関係の「出前授業」の実施に引き続き取り組みます。
- (3) 地域の公共図書館との協力による一般生活者向けのインテリア普及セミナーを全国規模で開催します。
- (4) 好評を得ている生活者参加型のインテリア小物等作成のワークショップ講座「Let's インテリア」は、全国で実施し充実を図ります。

オ. IC等が実施する調査・研究に対する支援

IC・KS資格者やインテリアに興味を持つ一般生活者などが行う、インテリアやキッチンに関する調査や研究活動を支援し、広く有益となるテーマに対してその経費の一部を助成します。応募があった調査・研究テーマに対し、協会の普及啓発関係の委員会でこれを審査・採択し、提出があった調査・研究の成果報告書は協会ウェブサイト等で広く公開します。

昨年度に引き続き、インテリア分野とキッチン・水回り分野に分けて募集します。

カ. IC等を目指す者及びIC等の能力向上のためのコンテストの開催

IC・KS資格制度の普及と資格者等の能力向上を目的に、誰もが自由に応募可能な以下のコンテストを継続実施します。優秀作品については、協会ウェブサイトでの掲示や展示会など全国のインテリア普及イベントにおいて紹介の場を設け、作品集や年度カレンダー等として配布し、広く紹介します。

1. 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト（第35回）

本年度も経済産業大臣賞（事例分野）、経済産業省製造産業局長賞（課題分野）の下付を申請してコンテストを実施します。若い世代へのインテリア普及啓発のための「高校生の部門」のコンテストについては、従前どおり一般への募集に先がけて行いその応募の利便を図ります。

2. 「知ろう、学ぼうインテリア」アイデア募集（第5回）

主として学童、中学生、高校生を対象にインテリアのアイデアを募集するコンテストを実施します。

3. キッチン空間アイデアコンテスト（第13回）

キッチン空間に関する生活者の動向を踏まえ、自由な発想と提案を求めるテーマを設定し、誰でも応募できる内容で引き続き実施します。

キ. 消費者に対するインテリアに関する普及啓発活動及び展示会の開催

1. 絵画コンテスト

東北を始めとした複数の支部において、小学生から作品を募集する「こんな部屋いいな絵画コンテスト」を開催し、インテリアを考える楽しみを児童の素直な感性で自由に表現した作品を募集いたします。また新たな地域においての翌年度実施に向けて、県や市等の行政に後援依頼をするなど事前の準備を進めます。

2. 展示会等の催し

(1) 本部が参画する催し

インテリアの普及を目的に、引き続き展示会等に取り組み、一般生活者にとって有意義な出展を行います。

(2) 支部が参画する催し

全国各支部での展示会には、それぞれ地域の会員企業から協力を得て引き続き出展します。

3. 学校への教材頒布

(1) 中学生向けインテリア普及教材の作成頒布

中学生を対象としたインテリアの学習用教材「中学校技術・家庭科副読本」の配布を引き続き行います。

(2) 高校生向けインテリア普及教材の作成頒布

高校生を対象としたインテリアの学習用教材「高等学校家庭科（住生活）資料」の配布を引き続き行います。

III 協会の組織運営

1. 協会に設置する委員会

外部有識者や協会会員企業により委員会を構成し、各事業の実施の方向性等に対する検討・助言を踏まえ事業活動方針を決定し、これを推進します。

2. 会員活動

インテリア関連業界に横断的かつ網羅的に協会の公益事業活動内容の有用性が浸透していくように、引き続き、幅広く関連企業・団体等に当協会の事業活動を働きかけていきます。これに賛同する法人、個人または団体への会員入会促進も引き続き行います。

本部においては各委員会の活動等により、協会員の賛同を得るべく、公益目的に則した事業活動の促進に努めます。また、支部においては、本部、支部間の連携を強化し、地域性を生かすとともに本部、各支部間の情報共有により、一層のインテリアの普及を促進します。

なお、協会の事業活動については、年4回発行の「会報」「協会ホームページ」等に掲載し、タイムリーかつ的確に情報提供します。

3. 広報活動

IC・KS資格制度の認知度の向上、CBT方式導入の認知向上のため、一般生活者や住宅・インテリア産業界など広く社会に向けて広報活動を継続して行います。

協会ウェブサイトの改善を継続するとともに、一般生活者に向けた講座動画配信等の継続などを通じ、協会事業の広報活動を安定的に運営します。

4. その他

IC・KS資格試験の受験申込者増や資格申請者・更新者増に向けた改善策を引き続き検討します。

以上